

日本万国博覧会記念公園の 活性化に向けた アクションプラン

2025年3月
大 阪 府

目次

1

日本万国博覧会記念公園の活性化に向けた将来ビジョン
2040における目標・基本方針、取組みの方向性

2

アクションプランについて（ビジョン2040より）

3

アクションプランの計画期間

4

数値目標（KPI等）

5

基本的な取組み

6

重点項目

7

主な取組みスケジュール

1. 日本万国博覧会記念公園の活性化に向けた将来ビジョン2040における 目標・基本方針、取組みの方向性

日本万国博覧会記念公園の活性化に向けた将来ビジョン2040では、基本テーマ、基本理念、めざすべき公園像、存在意義と3つの目標、基本方針や、2025年に目指す公園像を掲げている。

【基本テーマ】

人類の進歩と調和

【基本理念】

緑に包まれた文化公園

【めざすべき公園像】

緑と文化・スポーツを通じて人類の創造力の源泉である生命力と感性が磨かれる公園

【存在意義】

大阪万博の精神と文化遺産を継承するとともにその再生を図り、多様な人々や自然とつながる持続可能な未来に向かう交流の場を生み出す

目標 1

**多様な人々が交流交歓を通じ、
喜びや希望を感じられる場の
実現**

目標 2

**豊かな未来を考え、
行動を促す場の実現**

目標 3

**世界に誇る文化・
スポーツ拠点の形成**

基本方針 1

**将来にわたり、すべての人が
安心して快適に利用できる、多
様性と調和に満ちた公園**

基本方針 2

**レガシーの活用と、万博の森づ
くりの文化活動等を通じ、未来
を創造する力を育む公園**

基本方針 3

**文化・スポーツの拠点として、
国内外から観光客を含む多く
の人々を呼び込み、新しいラ
イフスタイルを体験できる公園**

1.日本万国博覧会記念公園の活性化に向けた将来ビジョン2040における 目標・基本方針、取組みの方向性

目標 1 多様な人々が交流交歓を通じ、喜びや希望を感じられる場の実現

基本方針 1 将来にわたり、すべての人が安心して快適に利用できる、多様性と調和に満ちた公園

取組みの方向性

- A.誰もが安全安心、快適に公園を利用できるよう、バリアフリー化、ユニバーサルデザインの導入等に取り組むとともに、DX等を推進し、ハンディキャップの解消やより快適な公園利用等、利用者の多様なニーズに対応できるよう環境整備を進める。施設改修計画に基づき、来園者が安心して快適に利用できるよう公園施設の計画的な整備・保全・改修を進めるとともに、民芸館、EXPO'70パビリオン、太陽の塔等レガシー施設等の大規模更新を行う。
(ゾーン：全域)
- B.様々な立場の人が交流交歓し、喜びや希望を感じることができる公園をめざす。(ゾーン：全域)
- C.日々の生活によりそう普段使いの公園をめざすとともに、イベントなど各種催しや新しい取組み等による非日常を楽しむための場所づくり等、両面から取り組む。(ゾーン：アクティブゾーン)
- D.指定管理者制度による民間ノウハウの活用や、DX等の推進により、効果的・効率的な公園運営を行うことで、持続可能な財務運営体制づくりに取り組む。(ゾーン：全域) 等

1.日本万国博覧会記念公園の活性化に向けた将来ビジョン2040における 目標・基本方針、取組みの方向性

目標2 豊かな未来を考え、行動を促す場の実現

基本方針2 レガシーの活用と、万博の森づくりの文化活動等を通じ、未来を創造する力を育む公園

取組みの方向性

- E.約19万点に及ぶレガシーの保存・活用・魅力向上を図るため、レガシーの電子化とともに、「（仮称）アーカイブセンター」の設置を行い、豊かな未来をめざすための発信を積極的に進める。太陽の塔は重要文化財指定のうえ世界遺産登録をめざす。日本庭園は登録記念物登録、将来的に名勝指定もめざす。また、2025大阪・関西万博と連携し、相乗効果を図る。（ゾーン：レガシーゾーン）
- F.公園の豊富なリソースを活かし、未来を考える場としての利活用を推進するため、未来の主演である子どもたちをはじめ、多世代が参画する体制づくりや環境整備を行い、STEAM教育等が展開される場をめざす。（ゾーン：ネイチャーゾーン）
- G.万博の森づくりを継続し、豊かな生物多様性を持ち、人と自然がふれあえる健全な森をめざす。ボランティア等の様々な主体が森づくりに関わる仕組みをつくる。研究の場として、さらにレクリエーションや健康増進の場としての活用を広げる。（ゾーン：ネイチャーゾーン）
- H.国立民族学博物館等と連携し、学術的な交流の場として発展をめざす。（ゾーン：アカデミックゾーン） 等

1.日本万国博覧会記念公園の活性化に向けた将来ビジョン2040における 目標・基本方針、取組みの方向性

目標3 世界に誇る文化・スポーツ拠点の形成

基本方針3 文化・スポーツの拠点として、国内外から観光客を含む多くの人々を呼び込み、新しいライフスタイルを体験できる公園

取組みの方向性

- I. インターメディア的なアートの実験都市であった大阪万博を記念し、大阪万博や万博の森などをテーマとするアート&サイエンスフェスティバルの実施や、EXPO'70パビリオン別館等新たな施設整備により都市魅力の創出を図るとともに、万博記念公園や大阪万博レガシーの効果的なPRを行う。（ゾーン：全域）
- J. 国内外の人々が訪れたい公園をめざして、民間活力を導入し、公園内外のさまざまな団体・施設と協力・連携しながら、世界に誇る文化・スポーツ拠点として、新しい魅力創出等、さらなる活性化を図る。（スポーツ・レクリエーションゾーン）
- K. 万博記念公園駅前周辺地区活性化事業の推進・連携等を通して、これまでにない新しい交流交歓のあり方を探る先進的エリアとして、新しいライフスタイルを体験できる拠点づくりに取り組む。（ゾーン：スポーツ・レクリエーションゾーン） 等

2. アクションプランについて（ビジョン2040より）

大阪万博50周年を経て策定される新たな将来ビジョンは、次の夢を語るものとして大阪万博100周年への方向性となります。また、万博記念公園駅前周辺地区活性化事業の事業期間も50年であることから、万博記念公園全体として相乗効果を生み出していくためにも、50年先の未来を視野に入れることが重要です。

そのうえで、事業の具体的な展開を図る観点から、見通しが可能な計画期間を設定することとし、SDGs達成期限である2030年を結節点として、それまでの約10年間と、その10年後の「2040年」までを計画期間として設定します。

具体的な取組みについては、公園を取り巻く環境の変化に柔軟に対応しながら取組みを進めていくため、5年程度で更新するアクションプランを策定し、さらに必要に応じて適宜見直しを行うこととします。

その際、2040年までの計画期間を下記3つに区分し、段階的に万博記念公園の活性化を図っていきます。

また、将来ビジョンの達成状況の確認・評価については、旧ビジョンにおいて自然文化園の来園者数という単一の指標を設定してきましたが、具体的な施策を踏まえ、来園者数に加え複数のKPIをアクションプランで設定します。

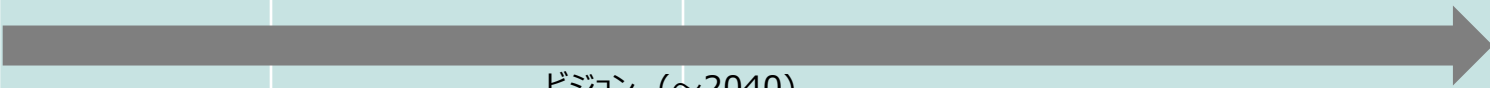
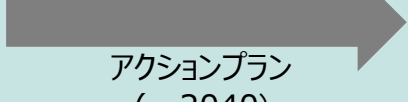
短期 (2025年度まで)	3つの目標実現に向けた取組みに着手し、大阪・関西万博のインパクトも活かしながら、「世界第一級の文化・観光拠点の『進化・発信』」を行います。
中期 (2030年度まで)	世界最先端のアリーナを中核とする文化・スポーツ拠点の形成等を通じ、さらなる観光の促進を図るとともに、2030年を目標年度とするSDGs達成に貢献します。
長期 (2040年度まで)	万博記念公園駅前周辺地区活性化事業との相乗効果等により、国内外からより多くの人々を呼び込むことで、「生命力と感性が磨かれる公園」として世界における存在感を確立し、さらなる都市の魅力の創出を図ります。

3. アクションプランの計画期間

アクションプランは、「日本万国博覧会記念公園の活性化に向けた将来ビジョン2040」（以下、「ビジョン2040」）の実現に向け、具体的な取組み施策等を示すもの。公園を取り巻く環境の変化に柔軟に対応しながら取組みを進めていく。

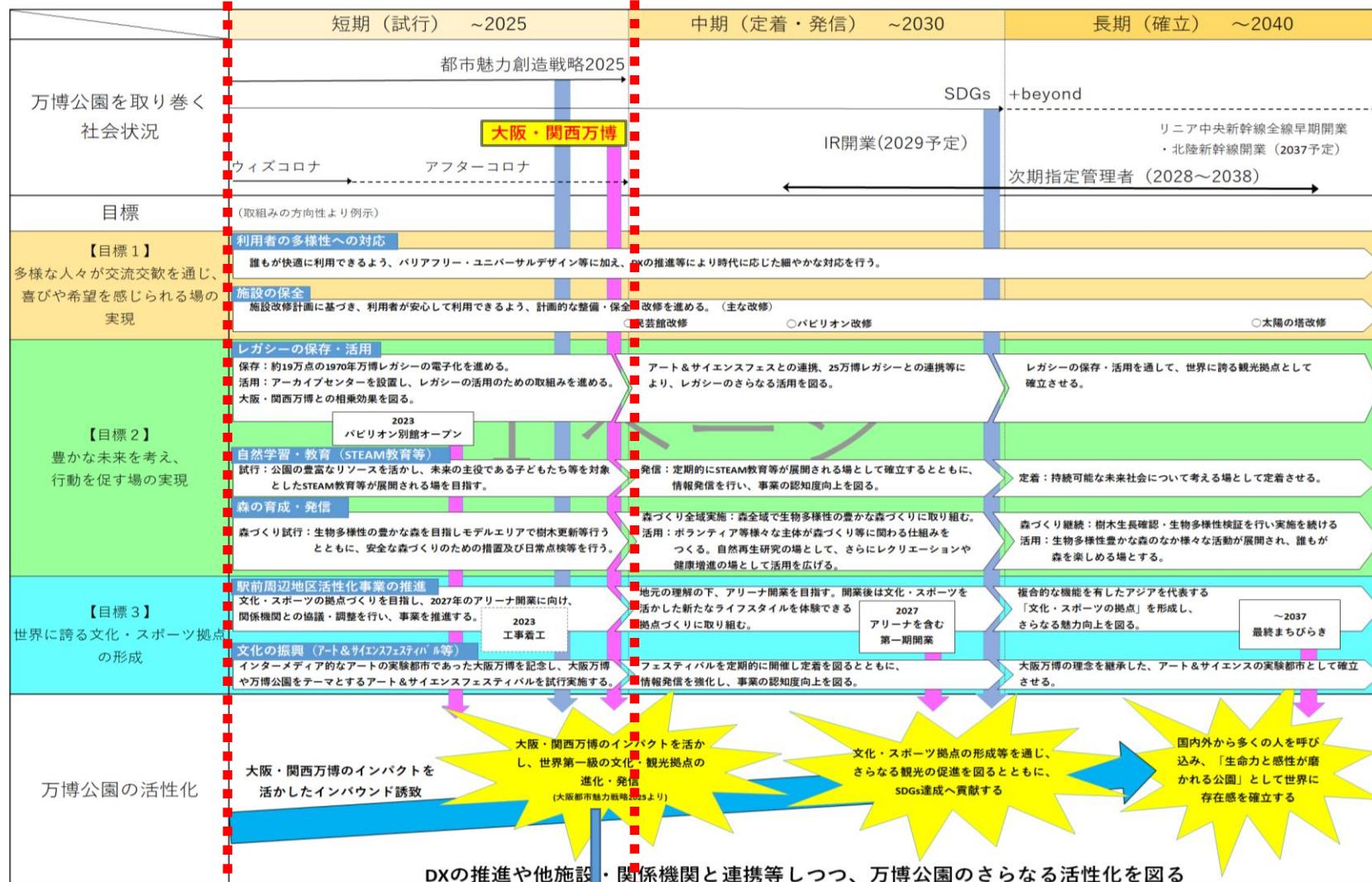
初回のアクションプランは**大阪・関西万博のインパクトを最大限に活かすため、2025年度までを期間**とする（以下、初回のアクションプランを「アクションプラン2025」とする）。以降5年程度の期間で定め、必要に応じて、期間中に適宜見直しを行う。

アクションプランスケジュール（予定）

	短期 （-2025年度）	中期 （2026年度-2030年度）	長期 （2031年度-2040年度）
ビジョン	 ビジョン（～2040）		
アクションプラン	 アクションプラン （～2025）	 アクションプラン （～2030）	 アクションプラン （～2035）  アクションプラン （～2040）
公園を取り巻く 主な社会状況 等の変化	◆駅前活性化事業 大規模アリーナ開業（2030年春） ◆指定管理第2期開始（2028年10月予定）		
	◆駅前活性化事業 全施設開業（2038年） ◆大阪・関西万博開催（2025年4～10月） ◆IR開業（2030年秋）		

参考：日本万国博覧会記念公園の活性化に向けた将来ビジョン2040におけるロードマップ

本アクションプラン期間



DXの推進や他施設・関係機関と連携等しつつ、万博公園のさらなる活性化を図る

2025にめざす公園像

大阪・関西万博のインパクトを活かし、世界第一級の文化・観光拠点の進化・発信

4. 数値目標（KPI等）

アクションプラン2025における数値目標は270万人とする(※)。
達成に向け、進捗状況を管理・確認するため、KPI（重要業績成果指標）として初来園者数とリピーター数を設定する。
(※目標設定は、新型コロナウイルス感染症による行動制限等、人的活動に影響がないことを前提とする)

数値目標	重要成功要因	KPI（重要業績成果指標）	取組み	参考指標
自然文化園 来園者数 240万人 (2023年度) ↓ 270万人 (短期2025)	・数値化しない 初来園者獲得 リピート促進	・検証,見直し,再設定する 初来園者数 50万人 (過去アンケート分析) ↓ 70万人以上 (短期2025) リピーター数 190万人 (過去アンケート分析) ↓ 200万人以上 (短期2025)	・検証,見直し,再設定する ○2025年大阪・関西万博の機運醸成 ○2025年大阪・関西万博との連携 ○イベントや新しい楽しみ方 ○太陽の塔・日本庭園等レガシー施設の魅力向上 ○1970年大阪万博資料のアーカイブ化と公開 ○イベント等による1970年大阪万博・公園の魅力発信 ○駅前周辺地区活性化事業の推進 ○安全安心のための施設維持 ○万博の森づくりの推進、利用促進 ○持続可能な財政運営のための各種検討 ○公園関係団体等との連携 ○教育・学習プログラムの検討 ○来園者が快適に過ごせる環境づくり ○日常を楽しむコンテンツの充実	・着目すべき事項として、 下記をモニタリングし検証 を始める SNS等の活性状況 ・Instagram フォロワー数 ・フェイスブック ファン数 自然文化園以外の 公園施設利用状況 ・スポーツ施設利用者数 インバウンド ・海外からの来園者数 公園の質 ・来園者満足度 ・来園回数の意向

5.基本的な取組み

○安全安心のための施設維持

ビジョン／目標 1 基本方針 1 取組みの方向性：A（3頁参照）

施設改修計画に基づき下記のとおり推進する

- ・野球場スコアボード設備、テニスコート等のスポーツ施設を改修する
- ・東・西連絡橋等を耐震改修する
- ・その他、下水道分流化を推進、高圧受変電設備・井水ポンプ設備・園路舗装・フェンス等を改修する

○万博の森づくりの推進、利用促進

ビジョン／目標 2 基本方針 2 取組みの方向性：G（4頁参照）

- ・生物多様性が豊かで人と自然がふれあえる森を目指し、施業手法を検討し、モデルエリアでの施業を試行実施する
- ・安全対策を実施し、森の利用を促進する

○駅前周辺地区活性化事業の推進

ビジョン／目標 3 基本方針 3 取組みの方向性：J,K（5頁参照）

- ・事業実現に向け、関係機関や地元等との各種調整を行う
- ・各公園駐車場改良工事、公園事務所移転工事等を実施する

○公園関係団体等との連携

ビジョン／目標 2 基本方針 2 取組みの方向性：H（4頁参照）

- ・公園関係団体等と連携し、効果的なイベント等の取組みを継続する

○持続可能な財政運営のための各種検討

ビジョン／目標 1 基本方針 1 取組みの方向性：D（3頁参照）

- ・国庫補助や地方債の活用、未利用地の活用について検討する

6.重点項目

2025年度に開催される大阪・関西万博のインパクトを最大限に活かし、万博記念公園へ来園者を誘致するため、3つの重点項目を定める。

重点項目 1 「2025年大阪・関西万博に向けた機運醸成と連携」

2025年大阪・関西万博の機運醸成として、開催前に万博記念公園で1970年大阪万博の魅力等を紹介するイベントを実施するとともに、会期中に1970年大阪万博との連携イベントを実施することにより、2025年大阪・関西万博への参加促進につなげる

重点項目 2 「世界に誇る文化・観光拠点を創出」

1970年大阪万博のレガシー施設の魅力向上等により、世界に誇る文化・観光拠点を創出する

重点項目 3 「来園者受け入れ環境整備」

来園者が快適に過ごせる環境をつくるとともに、公園を楽しむコンテンツを充実させる

6.重点項目

重点1「2025年大阪・関西万博に向けた機運醸成と連携」

○2025年大阪・関西万博の機運醸成

ビジョン／目標2 基本方針2 取組みの方向性：E（4頁参照）

- ・万博記念公園内で実施される2025年大阪・関西万博に関連したイベントを通じ、機運醸成とPRを図る（大阪万博55周年記念フェスティバル）
- ・2025年大阪・関西万博に関連する文化・スポーツイベント等に万博記念公園を積極的に活用する（文化スポーツ事業との連携）

○2025年大阪・関西万博との連携

ビジョン／目標2 基本方針2 取組みの方向性：E（4頁参照）

- ・2025年大阪・関西万博会期中に連携プログラム等を実施する（（仮称）大阪万博企画展）
- ・2025年大阪・関西万博開催時期に増加する観光客に万博記念公園及び大阪の魅力をPRし、大阪全体の盛り上げに寄与する（観光関係機関との連携）

○イベントや新しい楽しみ方

ビジョン／目標1 基本方針1 取組みの方向性：C（3頁参照）

- ・2025年大阪・関西万博関連で来阪外国人が増加する期間に、国際ナショナルキャンプや夜間のイルミネーション等、来阪外国人が楽しめるイベントを実施する
- ・大阪観光局や地元観光協会等の観光関係機関と連携し、来園者の誘致を図る

6.重点項目

重点2 「世界に誇る文化・観光拠点を創出」

○太陽の塔・日本庭園等レガシー施設の魅力向上

ビジョン／目標2 基本方針2 取組みの方向性：E（4頁参照）

- ・太陽の塔の世界遺産登録に向けて取組む（登録有形文化財（建造物）太陽の塔 調査報告書まとめR6.11）
- ・日本庭園の名勝指定に向けて取組む
（日本庭園登録記念物登録R6.10、日本庭園の保存活用計画策定R7.2、文化財庭園としての価値の維持・景観向上に向けた植栽管理、管理棟（正門）と中央休憩所等の施設改修による魅力向上）
- ・EXPO'70パビリオンの魅力向上に取組む（企画展実施等）
- ・迎賓館の歴史的・文化的価値の維持と有効活用を図るとともに、平和の鐘を周知し継承する
- ・ユニークベニューへの活用を検討する

○1970年大阪万博資料のアーカイブ化と公開

ビジョン／目標2 基本方針2 取組みの方向性：E（4頁参照）

- ・約19万点ある1970年大阪万博資料のデジタルアーカイブ化を進めるとともに、資料公開の効果的な手法を検討する

○教育・学習プログラムの検討

ビジョン／目標2 基本方針2 取組みの方向性：F（4頁参照）

- ・公園の資源を活かし、SDGs等をテーマとする体験学習等を実施する
- ・万博の森づくりに関する情報を発信する

○イベント等による1970年大阪万博・公園の魅力発信

ビジョン／目標3 基本方針3 取組みの方向性：I（5頁参照）

- ・1970年大阪万博の特徴を活かしたイベント等により、1970年大阪万博と万博記念公園の魅力を発信する

6.重点項目

重点3 「来園者受け入れ環境整備」

○来園者が快適に過ごせる環境づくり

ビジョン／目標1 基本方針1 取組みの方向性：A・B（3頁参照）

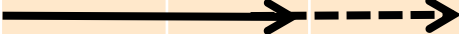
- ・自然文化園内7箇所のトイレについて美装化を行う（2025年度中に自然文化園内全33箇所の美装化を完了）
- ・GPSを活用した公園デジタルマップにより、利用者が知りたい情報を届け、広い園内を楽しく周遊できるようサポートする
- ・案内タブレットの設置により、来園者がそれぞれ必要としている情報を提供する。さらに園内のイベント情報等をリアルタイムで発信するとともに、多言語にも対応し、インバウンドも含むすべての来園者の利便性の向上を図る
- ・視覚障がい者歩行支援アプリやミライロアプリの導入による障がい者利用のサポート等、安心、快適な公園利用を促進する
- ・外国人や障がい者との円滑な意思疎通を図るため、コミュニケーション支援ボードの設置等を行う
- ・園内スタッフに接客研修やユニバーサル研修を実施し、来園者を円滑にサポートする

○日常を楽しむコンテンツの充実

ビジョン／目標1 基本方針1 取組みの方向性：C（3頁参照）

- ・あじさいの森やチューリップの花園の改修など、見所の魅力向上を図る
- ・NPOやボランティアとの連携・育成を継続し、公園に愛着を持って関わる機会を創出する
- ・コロナ後のライフスタイルの変動に応じ、屋外環境の充実のため、ベンチや日除けパラソル、シェード等を設置し、日陰空間を創出する
- ・夏季に屋外で来園者が滞留する場所に、ミストシャワー等を設置する
- ・ジュニアスポーツ・障がい者スポーツの振興や、各種スポーツイベントの誘致等によりスポーツに親しむ場を提供する
- ・健康増進となる体験プログラムやコンテンツを検討する
- ・年間を通じ四季に合わせた効果的な広報プロモーションを実施する

7.主な取組みスケジュール

	2024 (R6)	2025 (R7)	2026～ (R8)	備 考（主なもの）
基本的な取組み				
スポーツ施設改修				R6：競技場大型ビジョン設備改修工事，競技場メインスタンド座席改修工事，テニスコート改修工事 R7：野球場スコアボード設備改修工事，テニスコート改修工事等
耐震改修				R6：9号橋補修工事，東・西連絡橋耐震改修工事 R7：西地区連絡橋耐震改修工事等
万博の森づくり				R6から：モデルエリアでのモニタリング、維持管理手法検討 R6から：樹木安全対策
駅前周辺地区活性化事業				R5.7：基本協定締結、R6.7実施協定締結 R8.4：貸付売買契約

7.主な取り組みスケジュール

	2024 (R6)	2025 (R7)	2026～ (R8)	備 考（主なもの）
重点1「2025年大阪・関西万博に向けた機運醸成と連携」				
2025年大阪・関西万博に向けた機運醸成	→			R7.3からR7.10：大阪万博55周年記念フェスティバル R7.3.16：大阪・関西万博記念EXPO EKIDEN2025
2025年大阪・関西万博との連携	→			R7.9：(仮称)大阪万博企画展
イベントや新しい楽しみ方	→		-----→	R6.6.23：国際ヨガDAY関西2024 R6.7からR6.9：万博夏まつり2024 -北摂最大級の屋台&縁日フェス- R6.8.17から18：サマーソニック大阪

7.主な取り組みスケジュール

	2024 (R6)	2025 (R7)	2026～ (R8)	備 考（主なもの）
重点2 「世界に誇る文化・観光拠点を創出」				
太陽の塔 重要文化財指定	→	---	→	R6：報告書公開、関係機関調整
日本庭園 国登録記念物登録	→	---	→	R6.10.11：国の登録記念物「名勝地関係」に登録 R7.2：保存活用計画策定 R6から：文化財庭園としての価値の維持・向上に向けた日本庭園の植栽管理とほす池園路等施設改修 R6：中央休憩所改修 R7：管理棟（正門）改修 R7：国際フォーラム開催
EXPO'70パビリオンの魅力向上	→	→	→	R6.5からR7.2：EXPO'70パビリオン企画展 1970年大阪万博 ユニホーム・コレクション R7.3からR7.8：EXPO'70パビリオン企画展 プレイバック1970 大阪万博と昭和レトロ R7から：外観リニューアル 等
迎賓館の歴史的・文化的価値の維持と有効活用の促進	→	---	→	R6.8：迎賓館活用事業者選定
第2回アート&サイエンスフェスティバル			→	R6.3：第1回アート&サイエンスフェスティバル
1970年大阪万博資料のアーカイブ化と公開	→ アーカイブ化	→	→ 構築・運用	R6から：アーカイブ化 R8から：公開に向けた仕組みの構築・運用
公園の資源を活かし、SDGs等をテーマとする体験学習等	→	→	→	R6.6：ザリガニハンター R6.7からR6.8：moricaraラボ R6.8：森の自由工作 R6.8からR6.9：森のクラフト工房 R6.9：バッタの昆虫観察会 R7.3、R7.5：ケモノ調べ隊
万博の森づくりに関する情報発信	→	→	→	R6から：自然観察学習館でのパネル展示

7.主な取り組みスケジュール

	2024 (R6)	2025 (R7)	2026～ (R8)	備 考（主なもの）
重点3 「来園者受け入れ環境整備」				
トイレ美装化改修	→	→	→	R6：自然文化園内 5 か所、スポーツ施設内 2 か所 R7：自然文化園内 7 か所 (2025年度内に自然文化園内の全33箇所美装化完了予定)
公園デジタルマップ	→	→		
案内タブレットの設置	→	→		
視覚障がい者歩行支援アプリ	→	→		
見所の魅力向上	→	→	→	R6からR7：あじさいの森改修 R7：チューリップの花園改修等
NPOやボランティアとの連携・育成（継続）	→	→	→	R6から：日本庭園ボランティアガイド R6：めざせ！災害サバイバルマスター1DAYチャレンジ
ジュニアスポーツ・障がい者スポーツの振興、各種スポーツイベント誘致等	→	→	→	R6：茨木市民マラソン大会等
健康増進となるプログラムやコンテンツを企画	→	→	→	R6：身体のゆがみ直し ～フレイル予防教室～